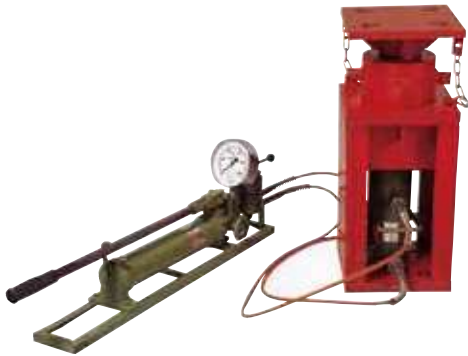


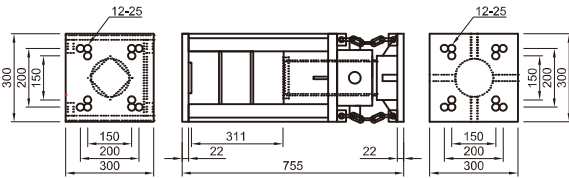
# ニューキリンジャッキ

## ニューキリンジャッキ

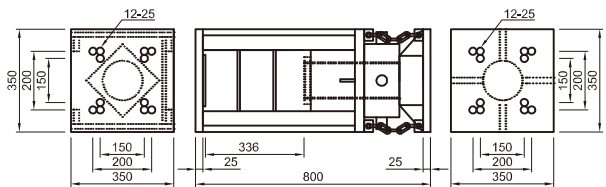


項目	形式	NH-150	NH-250	NH-300			
適用H鋼サイズ		300H	350H	400H			
耐力	kN	1000	2000	2500			
ストローク	mm	130	130	130			
最小寸法	mm	755	800	620			
ベース板厚	mm	22	25	19			
ベース板穴ピッチ	上部側	mm	150×150	150×150	200×200		
		mm	150×200	150×200	270×300		
		mm	200×200	200×200			
下部側	mm	150×150	150×150	200×200			
	mm	150×200	150×200	270×300			
	mm	200×200	200×200				
質量	kg	170	260	410			
適用挿入油圧ジャッキ		NB-10	NB-10	NB-20	SJ5-100AL	SJ10-50AL	NB-25
常用出力	kN	1000	1000	2000	500	1000	2500
受圧面積	cm <sup>2</sup>	50.3	50.3	103.9	71.63	146.55	397.6
ストローク	mm	150	150	100	100	50	50(80)
最小寸法	mm	310	310	290	248	242	260
シリンダ外径	mm	127	127	185	134	192	285
質量	kg	27	27	60	12	26	110
必要幅調整材	枚	0	1	2	2	4	1
適用手動ポンプ		UP-22C	UP-22C	UP-22C	P-4G	P-4G	P-4D

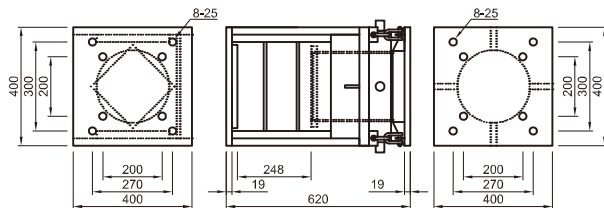
NH-150



NH-250

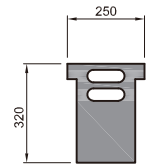


NH-300



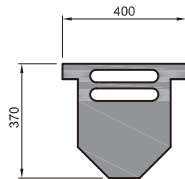
調整材

NCH35L 350H用



質量 1.9kg

NCH40L 400H用

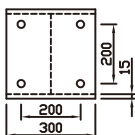


質量 3.2kg

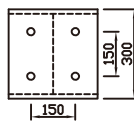
## 補助ピース

DP30 300H用 L=150  
質量 35kg

ジャッキ側

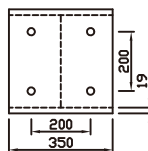


切梁側

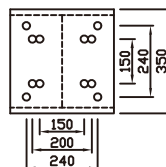


DP35 350H用 L=150  
質量 50kg

ジャッキ側

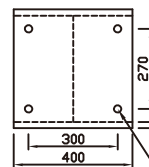


切梁側

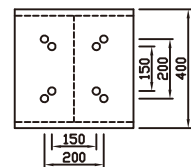


DP40 400H用 L=150  
質量 75kg

ジャッキ側

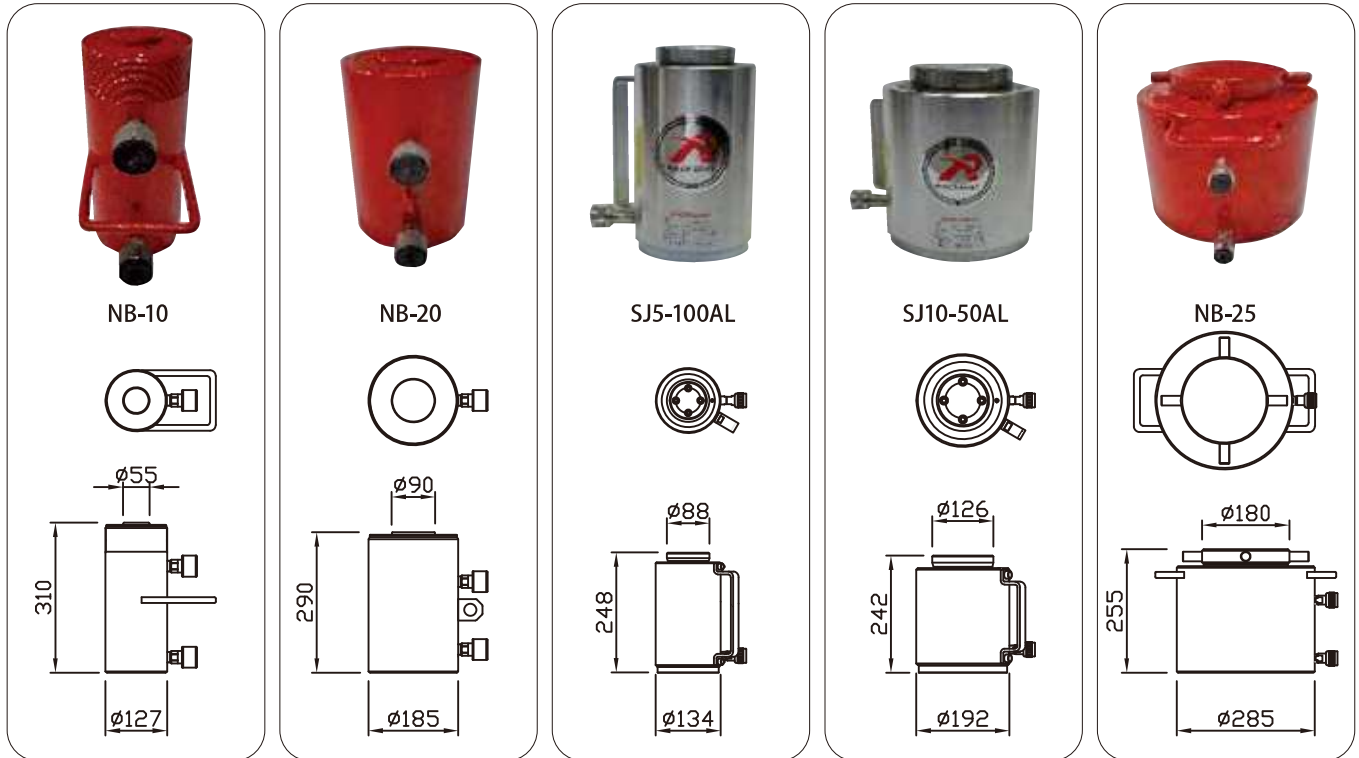


切梁側



穴径はφ25

## 挿入ジャッキ



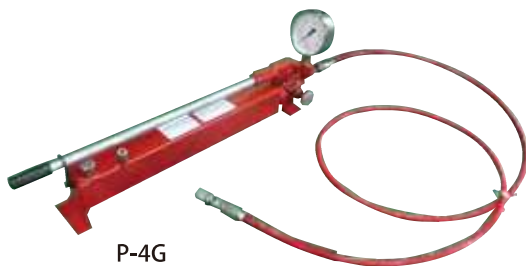
## 手動ポンプ

項目	形式	UP-22C			
使用圧力	MPa	高圧時	200	低圧時	3
吐出量	ml/ストローク	高圧時	1.6	低圧時	31.0
タンク油量	ℓ	2.1			
有効油量	ℓ	1.8			
質量	kg	25			



UP-22C

超高圧ホース3m×2本付属

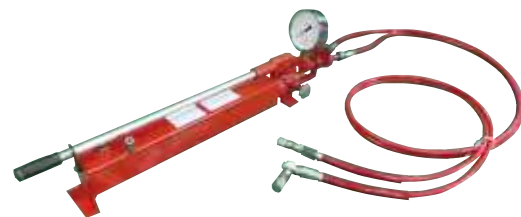


P-4G

高圧ホース3m×1本付属

項目	形式	P-4G			
使用圧力	MPa	高圧時	70	低圧時	2
吐出量	ml/ストローク	高圧時	2.3	低圧時	13.0
タンク油量	ℓ	2.5			
有効油量	ℓ	1.8			
質量	kg	11.5			

項目	形式	P-4D			
使用圧力	MPa	高圧時	70	低圧時	2
吐出量	ml/ストローク	高圧時	2.3	低圧時	13.0
タンク油量	ℓ	2.5			
有効油量	ℓ	1.8			
質量	kg	13.5			



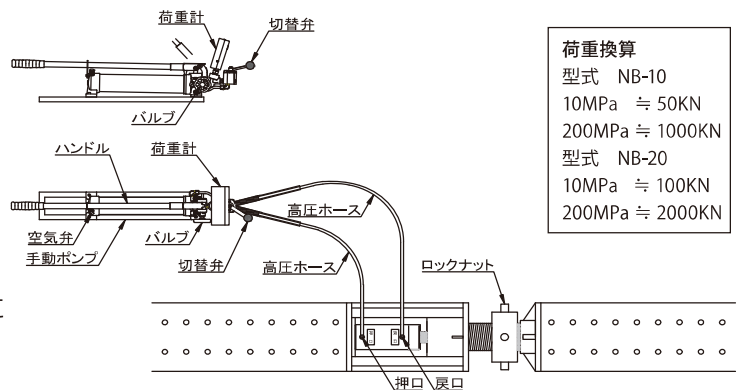
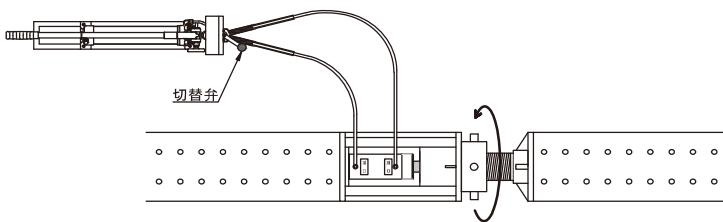
P-4D

高圧ホース3m×2本付属

## ニューキリンジャッキの加圧方法

### 手動ポンプ UP-22C使用時

1. ジャッキの注油口キャップを外す。
2. 高圧ホースのキャップを外す。
3. 高圧ホースをジャッキの押口及び戻口にモンキー等で完全に接続する。
4. 挿入ジャッキをニューキリンジャッキに挿入する。
5. 切替弁を押口ホース側に切替える。
6. 空気弁を緩める。
7. バルブを右に一杯回す。
8. 挿入ジャッキをニューキリンジャッキのセンターに当るように持ち上げる。
9. ハンドルを上下に動かして加圧する。



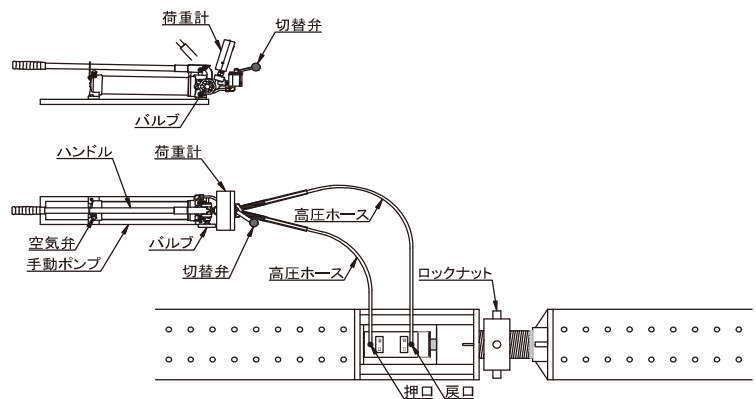
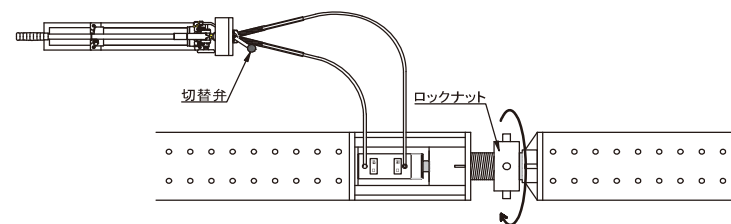
荷重換算	
型式 NB-10	
10MPa	≒ 50KN
200MPa	≒ 1000KN
型式 NB-20	
10MPa	≒ 100KN
200MPa	≒ 2000KN

10. 希望荷重に到達したらロックナットを締める。
11. バルブをゆっくり左に回す。
12. 荷重計の読み値が0になったら切替弁を戻口ホース側に切替える。
13. ハンドルを上下に動かし挿入ジャッキを縮める。
14. 挿入ジャッキをニューキリンジャッキから取出し、高圧ホースを取り外し各キャップを締める。

## ニューキリンジャッキの除圧方法

### 手動ポンプ UP-22C使用時

1. ジャッキの注油口キャップを外す。
2. 高圧ホースのキャップを外す。
3. 高圧ホースをジャッキの押口及び戻口にモンキー等で完全に接続する。
4. 挿入ジャッキをニューキリンジャッキに挿入する。
5. 切替弁を押口ホース側に切替える。
6. 空気弁を緩める。
7. バルブを右に一杯回す。
8. 挿入ジャッキをニューキリンジャッキのセンターに当るように持ち上げる。
9. ハンドルを上下に動かしてロックナットと本体との間にすき間(ロックナットが回る程度)ができるまで加圧する。



10. ロックナットを開く。
11. バルブをゆっくり左に回し荷重を除荷する。
12. 荷重計の読み値が0になったら、切替弁を戻口ホース側に切替える。
13. バルブを右に一杯回す。
14. ハンドルを上下に動かし挿入ジャッキを縮める。
15. 挿入ジャッキをニューキリンジャッキから取出し、高圧ホースを取り外し各キャップを締める。

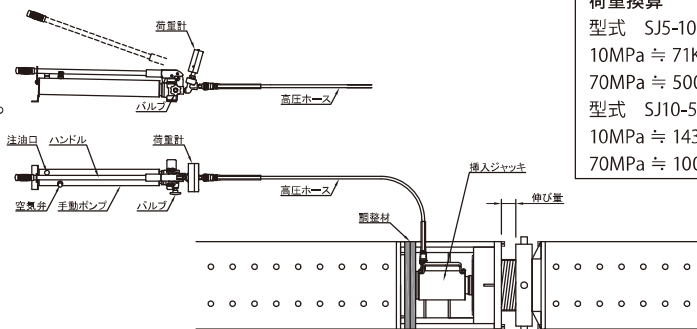
#### ⚠ 加除圧時の注意点

1. ジャッキストローク表を確認し加圧して下さい。所定以上に伸ばし過ぎると、**ジャッキが破損し大変危険**です。
2. ジャッキに高圧ホースを取付ける際、**油が漏れる**ためウエスで拭き取ってください。
3. ジャッキのストロークを縮める場合は**ゆっくり**と行いあまり圧力を掛けないでください。

## ニューキリンジャッキの加圧方法

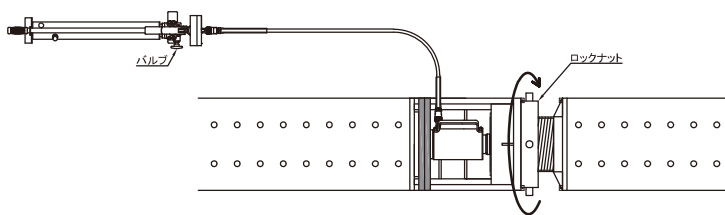
### 手動ポンプ P-4G使用時

1. ニューキリンジャッキのチェーンを外す。
2. 挿入ジャッキにホースを接続する。
3. 調整材をニューキリンジャッキに挿入する。
4. 挿入ジャッキをニューキリンジャッキに挿入する。
5. 空気弁を緩める。
6. バルブを右に一杯回す。
7. 挿入ジャッキをニューキリンジャッキのセンターに当るように持ち上げる。
8. ハンドルを上下に動かして加圧する。



#### 荷重換算

型式	SJ5-100AL
10MPa	≒ 71KN
70MPa	≒ 500KN
型式	SJ10-50AL
10MPa	≒ 143KN
70MPa	≒ 1000KN

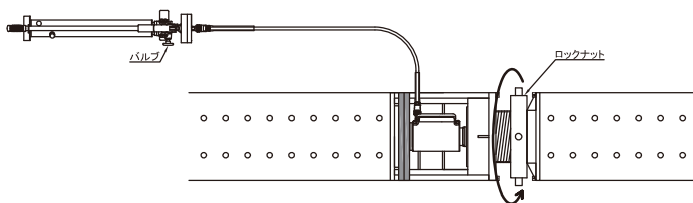
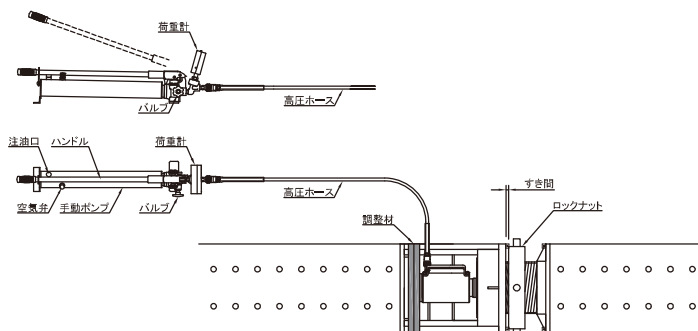


9. 希望荷重に到達したらロックナットを締める。
10. バルブをゆっくり左に回す。
11. 荷重計の読み値が0になったら調整材を外す。
12. 挿入ジャッキをニューキリンジャッキから取出し、高圧ホースを取り外し各キャップを締める。

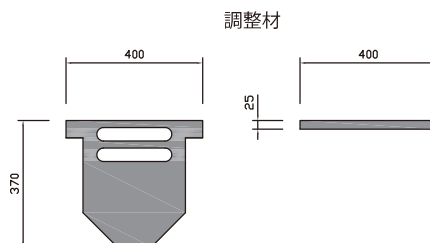
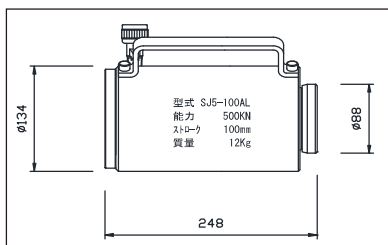
## ニューキリンジャッキの除圧方法

### 手動ポンプ P-4G使用時

1. 挿入ジャッキにホースを接続する。
2. 調整材をニューキリンジャッキに挿入する。
3. 挿入ジャッキをニューキリンジャッキに挿入する。
4. 空気弁を緩める。
5. バルブを右に一杯回す。
6. 挿入ジャッキをニューキリンジャッキのセンターに当るように持ち上げる。
7. ハンドルを上下に動かしてロックナットと本体との間にすき間(ロックナットが回る程度)が出来るまで加圧する。



8. ロックナットを開く。
9. バルブをゆっくり左に回し荷重を除荷する。
10. 荷重計の読み値が0になったら調整材を外す。
11. 挿入ジャッキをニューキリンジャッキから取出し、高圧ホースを取り外し各キャップを締める。



### ⚠ 加除圧時の注意点

1. キリンジャッキ及び挿入ジャッキのストロークは調整材を使用して調整下さい。
2. ニューキリンジャッキ及び挿入ジャッキは伸ばし過ぎると、ジャッキが破損し大変危険です。
3. 挿入ジャッキに高圧ホースを取付ける際、油が漏れるためウエスで拭き取ってください。
4. 挿入ジャッキのストロークはスプリング力で戻ります。